

臨床看護師の研究能力を 高めるための取り組み

教育研究推進WG

当院における研究能力を高めるための取り組み

1.九州大学病院看護研究コース

研究に関する知識やスキルに関する研修を行いながら、指導者による指導も実施。

- 教育研究推進WGが中心となり平成24年度に臨床看護師の看護研究に関する看護実践力向上を目的として開講された。

2.キャリア・ステーション

研究を進めていく中で、困ったことや、進学について相談できる。

- プロッサムプロジェクトの教育指導者養成で育成された看護職員（保健学科への人事交流者）を中心に、平成25年6月にキャリア相談窓口を開設した。

はじめに

研究は看護の質の向上に貢献するものと言われている。

日本看護協会の看護者の倫理綱領¹⁾において、「看護者は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する」と述べられており、看護者は科学的根拠に基づく看護を実践し、また専門的知識や技術の開発を行い、看護学に寄与する責任を担っている。

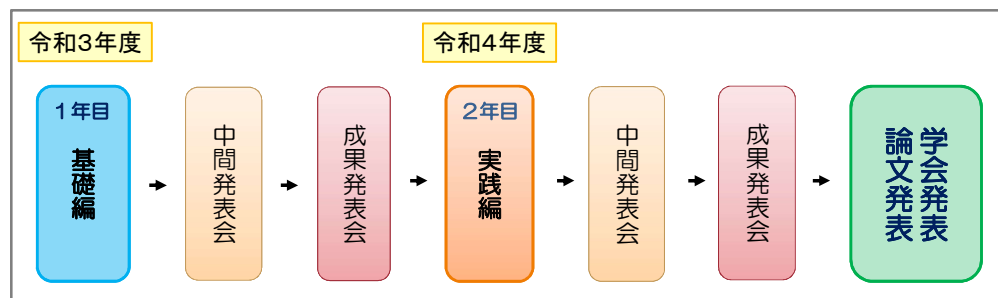
当院看護部は、臨床看護師の研究能力を高めるために2つの取り組みを実施している。

文献1)公益社団法人日本看護協会、看護者の倫理綱領：2003. 5p.
https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf, (参照2020-12-8)

1. 九州大学病院看護研究コース

構成員：九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野の教員
九州大学病院看護部の教育担当、大学院を修了した看護職員

【看護研究コースの流れ】



令和3年度 看護研究コース【基礎編】

＜目的＞ 看護の現象に対し研究的視点を持ち、関心領域に関する研究を深め、研究成果を発表できる

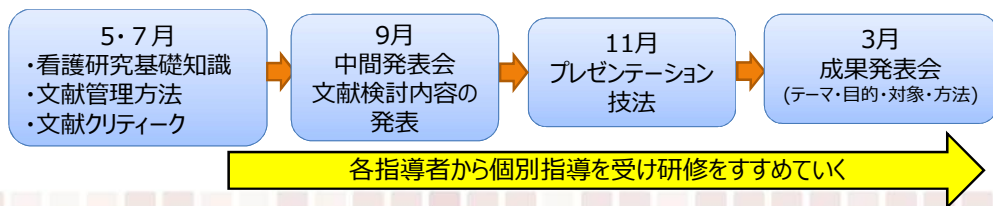
＜対象＞ 定員 10名

受講者1名に対し、保健学部門の教員が個別指導

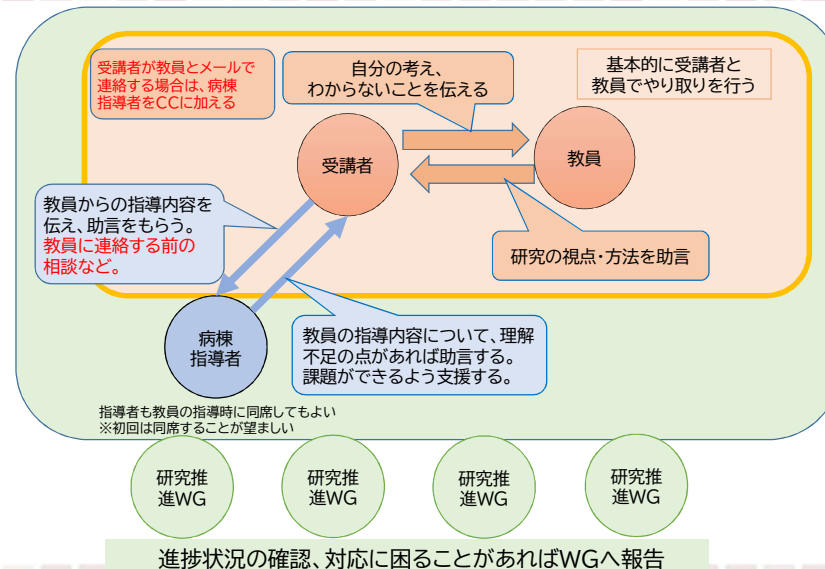
1) クリニカルラダーⅡ以上のもの

2) 基礎編修了後実践編受講を原則とする

＜スケジュール＞



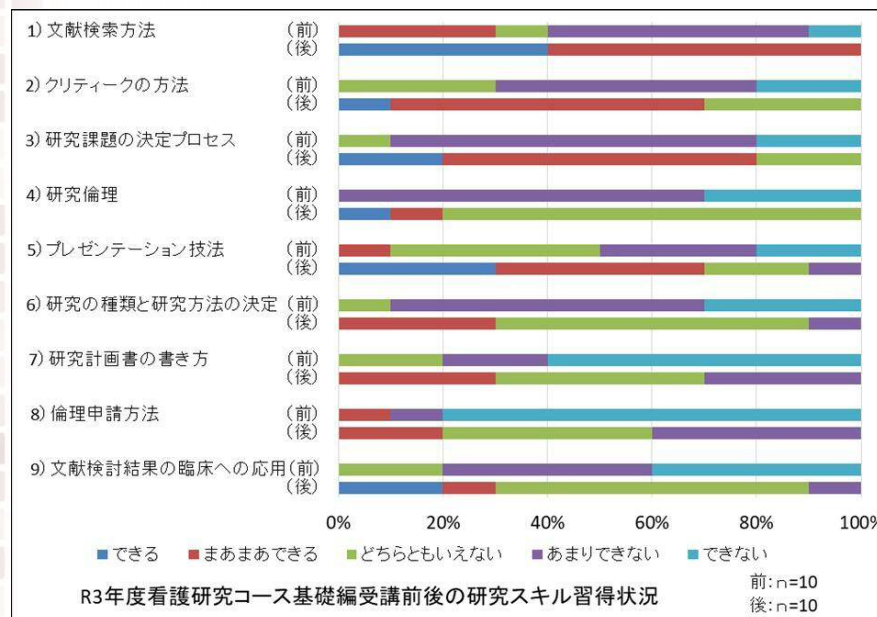
看護研究コース 受講者支援体制



看護研究コース【基礎編】の研修内容

日程	講義内容	講師	参加人数
第1回 5月	1. 看護研究の基礎 ・看護研究の課題設定 ・研究方法の種類	保健学部門教員	コース受講者10名 講義受講者8名
	2. 文献検索の方法 ・日本語文献の探し方 ・外国語文献の探し方	図書館司書	
第2回 7月	3. 文献のまとめ方 ・文献クリティークのポイント ・研究計画書について 4. 文献クリティーク演習	保健学部門教員 ファシリテーター 教育研究推進WG	コース受講者10名 講義受講者11名
第3回 7月	5. 文献管理について 文献管理ツールの概要、EndNote Basic	図書館司書	コース受講者9名 講義受講者11名
中間発表会 9月	6. 文献検討内容、進捗状況報告 司会進行・タイムキーパー（受講生）	教育研究推進WG	コース受講者10名 参加者22名
第4回 11月	7. プレゼンテーション技法 ・発表スライド作成 ・プレゼンテーションのポイント	保健学部門教員	コース受講者9名 講義受講者53名
成果発表会 3月 (Web)	8. 研究進捗状況、コースでの学び 司会進行・タイムキーパー（受講生）	教育研究推進WG	コース受講者10名 参加者27名(会場) 39名(zoom)

研究スキルの習得状況（基礎編受講前後で比較）



受講者アンケート結果

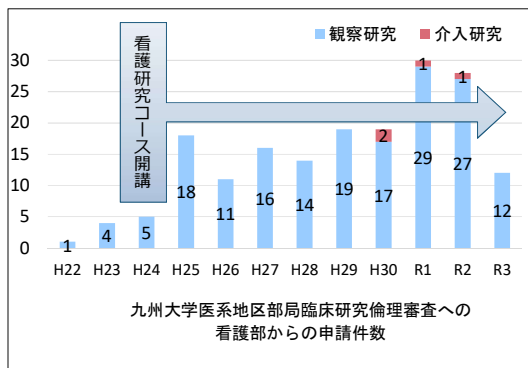
【アンケートの自由記載より（一部抜粋）】

- 研究について何も分からない状態だったので、1 から学ばせていただき、とても勉強になりました。
- 基礎を丁寧に学ぶことができ、看護研究に興味を持つことができました。
- 受講者 1 人 1 人に指導者の方がついて下さるので大変ありがたいと思えました。多くのアドバイスをいただくことができました。

【看護研究への取り組み状況】

看護部からの研究倫理審査申請件数は、平成24年度より増加
令和3年度新規申請は減少しているが、
介入研究2件、観察研究35件が継続して行われている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により休講とした
令和3年度は、感染予防に努めながら「基礎編」を開講した



令和元年度研究コース受講者の成果発表

【コース修了1年後】

令和2年進捗調査(n=10)

進捗	研究継続中	8
----	-------	---

【コース修了2年後】

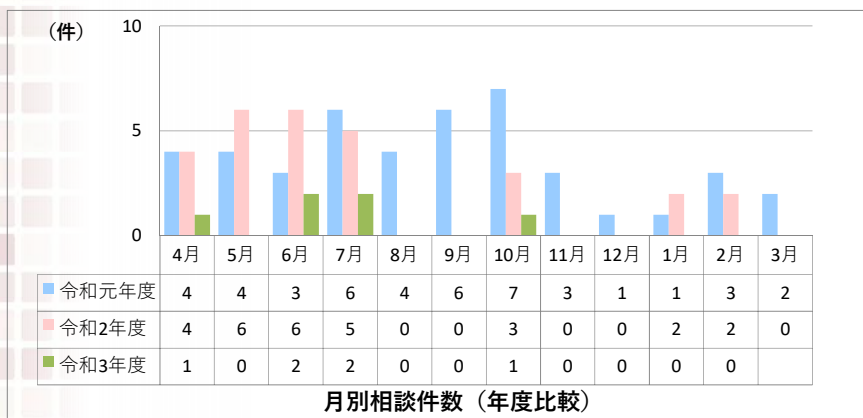
令和3年進捗調査 (n=8)

院内	令和2年度臨床看護研究発表会	1
	令和3年度臨床看護研究発表会	2
院外	学会発表申請中	1
進捗	研究継続中	2

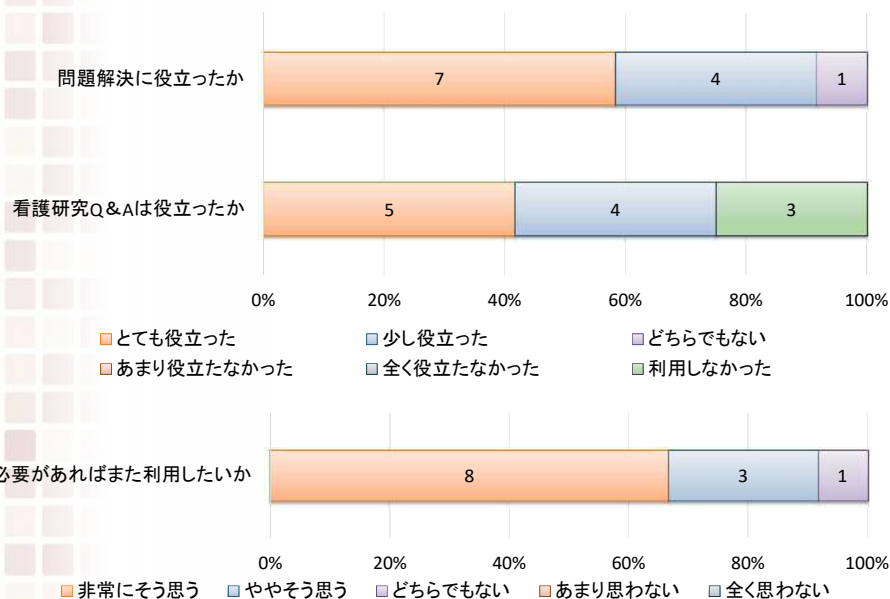
6名中3名が現在もコース受講時の担当教員のフォローを継続して受けている

2. キャリア・ステーション

- 構成員：看護師長、専門看護師、大学院修了者
令和3年度は教育研究推進WGメンバーのうち5名で相談に対応
- 相談内容：看護研究の相談（研究テーマの絞込み、研究計画書の作成など）
進学相談（大学院進学やスペシャリストを目指す際の情報提供）



キャリアステーション利用の感想 (n=12)



キャリアステーション利用の感想 (n=12)

【利用者からのアンケート結果（一部抜粋）】

- 研究の進め方や方向性が定まった。
- 自分たちだけでは解決できない内容を細かく指導していただけるので安心して研究に取り組むことができます。
- 研究に関する資料を準備していただき感謝しています。
- 相談させていただくことで別の視点からも問題を抽出することができました。

今後の展望

「安全で質の高い看護ケア」を提供するためには、実践している看護や事象に疑問を持ち、本当に効果があるのかを検証していく研究が必要である。

平成24年より、九州大学大学院医学研究員保健学科部門看護学分野の教員と協働して看護師の研究支援を行っている。今年度からは所属する病棟の看護師からも指導を受けられる体制を構築した。

自身で研究テーマを見つけ、研究計画書を立案し、調査、考察する過程の中では困難に直面することもあるが、研究を展開していくことで、客観的視点や論理的思考が修得できる。

現在のコロナ禍のように環境が変化した時にも、安全で患者・家族の気持ちに沿った看護を提供できるよう看護を探究し続ける看護師を育成していきたい。